

研究課題名：肝門部胆管癌に対する肝左葉尾状葉切除において肝離断面関連の剥離断端陽性に関する検討

1. 研究の対象

2002年1月1日～2018年12月31日に当院消化器外科1で肝門部領域胆管癌の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

肝門部領域胆管癌の手術において剥離面断端が陽性となることは予後不良因子であり、肝左葉切除症例において他の術式に比べて陽性となりやすいことが知られています。肝左葉切除症例を検討し、剥離面断端が陽性となる理由を明らかにし、剥離面断端陽性率を減少させることで治療成績の向上を目指します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、術前術後経過、予後、手術記録、病理標本、病理記録など。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科 総務課 電話：(052) 744-1901

名古屋大学医学部附属病院 電話：(052) 741-2111 (代表) 消化器外科1 大塚
新平

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 消化器外科1 椎野正人